

# 研究の全体構想

**【学校教育目標】** かしこい子 心豊かな子 すこやかな子  
**【重点】** 自己肯定感  
かしこい子・・・「わかる・できる授業」の創造

**研究主題 「学びをつなぐ児童の育成」**  
これまでの学び（既習内容や生活経験）とこれからの学び（新たな課題）、自分と他者との学び、縦断的・教科横断的な学びを結びつけ、自分の学びを深めたり自分の世界を広げたりする児童の育成を目指す

**副題 「子どもを主語にした授業づくりを通して」**  
子どもが学習の必然性を感じ、自ら学びをつなぐことができるようにするために、『「学習者」（子ども）の学びの視点』に立った授業改善に取り組む

## 「学習者（子ども）」の学び

<b>【自分で学びを動かす】</b> ①興味・関心をもって学習する ②見通しをもち、学び方を選択する ③粘り強く取り組む	<b>【他者とつなぎ合い深める】</b> ①自分の考えをもつ ②他者の考えを受け止める ③他者の考えを説明する ④他者の考えから、自分の考えを再構築する	<b>【学びをつなげて考える】</b> ①学習内容を関連付ける（教科縦断的・横断的） ②既習事項を生かして思考する ③次の学びへの見通しをもてる「振り返り」をする
---	--	--

**視点1 主体的な学び**

**視点2 協働・対話**

**視点3 学びのつながり**

<b>【主体性を引き出す授業】</b> ①学ぶ必然性や「問い」が生まれる導入 ②ゴールの明確化（共有）と子どもが選択できる「活動や方法」の設定 ③学習過程や思考の可視化とスモールステップ	<b>【対話・比較・再構築を生む授業】</b> ①思考過程の重視 ②話し合いの時間の確保と認め合う学級経営 ③他者の考えを自分の言葉で説明する場の工夫 ④比較・再構築を促す発問	<b>【単元・教材をつなぐ授業構想】</b> ①単元のつながりや既習事項を意識した教材研究・単元構成（「つながり」の可視化） ②既習事項を活用する手立ての工夫 ③学びのつながりを実感できる「振り返り」の活用
--	--	--

## 「授業者（教師）」の指導

**研究を支える活動・取組**      **認め合い高め合う学級集団づくり**